



長期経済展望 2023年

アフターショック経済

世界経済は、大規模な財政・金融支援の時期を脱しつつあります。PIMCOの長期経済展望「アフターショック経済」では、ボラティリティが高い時期の到来を予想し、最近の混乱後に続くであろう一連の影響を解説しています。

PIMCOが考える、今後5年の投資に影響を与える4つのテーマ



期待外れになる
可能性が高い
世界の経済成長

- ・ パンデミック前と比較して低い成長率
- ・ 続く混乱の余波により成長率がさらに低下する可能性



ボラティリティの
上昇
一介入の減少

- ・ 量的緩和 (QE) 疲れと増大する政府債務が、景気後退時に政策支援の足かせになる可能性
- ・ 人工知能 (AI)、2024年の米国大統領選挙、地政学上の緊張、インフレ・サプライズ(予想外のインフレ) など潜在的な混乱要因



潜在的な
供給制約

- ・ 労働市場の世界的な変化による継続的な影響
- ・ サプライチェーンのリスク低減が、サプライチェーン全体に悪影響を与える可能性



報われる
強靭性

- ・ 質の高い債券は過去15年で最高の開始時点利回りを提供
- ・ 値上がりの可能性を犠牲にすることなく、強靭性のあるポートフォリオを構築する好機



投資への意味合い

「脱政策」と言えるこの時代において、質の高い債券については、歴史的に将来リターンと強い相関性がある投資開始時点の利回りが、株式リターンの長期平均に近づいています。加えて、株式よりもボラティリティが大幅に低く、下落に対する防御力が強いと考えられます。これは、投資家が値上がりの可能性を犠牲にすることなく、慎重で強靭性（レジリエンス）のある手堅いポートフォリオを構築するうえで役立つはずで

セクター別の投資機会



コア債券：

質の高い債券を重視することで、投資家は値上がりの可能性を犠牲にすることなく、強靭性（レジリエンス）のあるポートフォリオを構築することができます。



柔軟で、マルチセクターから得られるインカム：

今後5年は債券全般の利回りの上昇が見込まれますが、勝者と敗者が生まれるでしょう。質の高さに焦点を当てたアクティブ運用は、魅力的なインカムとリターンの実現に役立つでしょう。



プライベート・クレジットとオルタナティブ：

投資家は商業用不動産やスペシャルティ・ファイナンスなど、プライベート・クレジットやオルタナティブ戦略内での多様なエクスポージャーの恩恵を受けられると考えられます。ただ今後数年は、より幅広い投資機会が改善を続けるはずで



為替市場およびエマージング市場

米ドルは引き続き世界の主要通貨であり続けると考えていますが、他にも投資機会があるとみています。一部のエマージング市場への投資は、グローバル・ポートフォリオのリスク分散手段として役立つでしょう。

PIMCO長期経済展望「アフターショック経済」の全文と、その今後5年の投資への意味合いは、ウェブサイトをご覧ください。

japan.pimco.com/

過去の実績は将来の運用成果を保証または示唆するものではありません。

全ての投資にはリスクが伴い、価値は下落する場合があります。**債券市場**への投資は市場、金利、発行体、信用、インフレ、流動性などに関するリスクを伴うことがあります。ほぼ全ての債券及び債券戦略の価値は金利変動の影響を受けます。デフレの長い債券及び債券戦略は、より短い債券及び債券戦略と比べて金利感応度と価格変動性が高い傾向にあります。一般に債券価格は金利が上昇すると下落します。低金利環境ではリスクが高まります。債券取引におけるカウンターパーティーの取引能力の低下が市場流動性の低下や価格変動制の上昇をもたらす可能性があります。債券への投資では換金時に当初元本を上回ることも下回ることもあります。**外貨建てあるいは外国籍の証券**への投資には投資対象国の通貨価値の変動や経済及び政治情勢に起因するリスクを伴うことがあり、新興成長市場への投資ではかかるリスクが増大することがあります。**為替レート**は短期間に大きく変動する場合があります。ポートフォリオのリターンを減少させる可能性があります。**プライベート・クレジット**は、流動性リスクを伴う可能性のある非公開有価証券に投資する可能性があります。プライベート・クレジットへの投資ポートフォリオにはレバレッジが利用される場合があります。投資の損失のリスクを増加させる可能性のある投機的な投資行動を伴うことがあります。不動産及び不動産に投資するポートフォリオの価値は、災害または収用による損失、地域経済または経済全般の状況の変化、需給、金利、固定資産税率、家賃に関する規制、都市計画法また運営費などにより変動します。**マネジメント・リスク**とは、PIMCOが用いる投資手法およびリスク分析が望んだ結果を生まないリスク、また、政策や変更等が戦略の運用においてPIMCOが利用可能な投資手法に影響を及ぼすリスクを指します。特定の証券や種類の証券の**信用格付**により、ポートフォリオ全体の安定性や安全性が確保されるわけではありません。**分散投資**によって、損失を完全に回避できるわけではありません。

本資料に含まれる予測や推計及び特定の情報は独自のリサーチを基としており、投資助言や特定の証券、戦略、もしくは投資商品の推奨を目的としたものではありません。予測や推計は本質的な限界があり、実際のパフォーマンス・レコードとは異なり、現実の取引や流動性の制約、手数料およびその他の費用が反映されていません。さらに、将来の成果に関する記述は、お客様のポートフォリオの運用成果の見込みや保証をするものではありません。

金融市場動向やポートフォリオ戦略に関する説明は現在の市場環境に基づくものであり、市場環境は変化します。本資料で言及した投資戦略が、あらゆる市場環境においても有効である、またはあらゆる投資家に相応しいという保証はありません。投資家は、自らの長期的な投資能力、特に市場が悪化した局面における投資能力を評価する必要があります。投資判断にあたっては、必要に応じて投資の専門家にご相談ください。見直しおよび戦略は予告なしに変更される場合があります。

言及されている特定の証券及びその発行体については、売買や保有継続の推奨を目的としたものではありません。PIMCO商品および戦略に言及された証券を保有している場合がありますが、その場合においてかかる証券を保有し続けることを表明するものではありません。

本資料には、資料作成時点でのPIMCOの見解が含まれていますが、その見解は予告なしに変更される場合があります。本資料は情報提供を目的として配布されるものであり、投資助言や特定の証券、戦略、もしくは投資商品の推奨を目的としたものではありません。本資料に記載されている情報は、信頼に足ると判断した情報源から得たものですが、その信頼性について保証するものではありません。

ピムコジャパンリミテッドが提供する投資信託商品やサービスは、日本の居住者であり、かつ法律による制約のない方に対して提供するものであり、かかる商品やサービスが許可されていない国・地域の方に提供するものではありません。

運用を行う資産の評価額は、組入有価証券等の価格、デリバティブ取引等の価値、金融市場の相場や金利等の変動、及び組入有価証券の発行体の財務状況や信用力等の影響を受けて変動します。また、外貨建資産に投資する場合は為替変動による影響も受けます。したがって投資元本や一定の運用成果が保証されているものではなく、損失をこうむることがあります。運用によって生じた損益は、全て投資家の皆様に帰属します。弊社が行う金融商品取引業に関してお客様にご負担頂く手数料等には、弊社に対する報酬及び有価証券等の売買手数料や保管費用等の諸費用がありますが、それらの報酬及び諸費用の種類ごと及び合計の金額・上限額・計算方法は、投資戦略や運用の状況、期間、残高等により異なるため表示することができません。PIMCOは、アリアンツ・

アセット・マネジメント・オブ・アメリカ・エルエルシーの米国およびその他の国における商標です。本資料の一部、もしくは全部を書面による許可なくして転載、引用することを禁じます。本資料の著作権はPIMCOに帰属します。2023年

(注) PIMCOはパシフィック・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシーを意味し、その関係会社を含むグループ総称として用いられることがあります。

ピムコジャパンリミテッド

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-28 虎ノ門タワーズオフィス18階 TEL: 03-5777-8150

金融商品取引業者：関東財務局長(金商)第382号、加入協会：一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会